

現場で輝く土木女子

女性が活躍する未来に向けて

群馬土木事務所が018年度発注した工事3,000のうち、女性監理員での契約件数は42件。他の業界では女性が活躍する環境が整っていないという背景がある。建設業においては、快適な作業環境を確保し、女性の活用を促進し、デザイン・マネジメント・プロジェクトの現場整備を進められるが、女性が現場で活躍するまでにはまだまだ課題の解決が必要となるだろう。その中で、監理員も技術者も女性が担当している現場が群馬土木事務所管内で動いている。子育てを取りながら仕事にやりがいを感じ、真面目に仕事に向き合う2人の女性に話を聞いた。



群馬土木事務所 高崎第一係 桑原 敦子 さん

●「育児時間の軽減が重要」
現在の仕事と志し
理由は何ですか？

旧群馬管内の県道や河川の維持管理と県道の改良工事を担当しています。当初は建設の仕事をしていたので、土木の仕事は志しませんが、大学で土木を勉強し、地盤に残る道徳や徳を身につけたいという気持ちで強くなり、土木の仕事に志しました。県には、さまざまな仕事で活躍する女性が入社してきています。同じ土木業界で活躍する女性が増えることを期待しています。

●女性技術者としての活躍の場はありますか？

坂本土木の佐藤さんと同じような状況で、現場で活躍しています。女性、男性という性別に関わらず、仕事は一緒です。女性技術者としての活躍の場は、現場で活躍している女性が増えることで広がります。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。



株式会社坂本工業 佐藤 安紗美 さん

●「会社のバックアップに感謝」
現在の仕事をめぐる理由は何ですか？

事務の仕事で入社しましたが、女性も男性と同様に人の職士としての可能性に期待を寄せた。社長の言葉で、現場での活躍の場も広がります。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。

●この夢はなんですか？

大規模な工事だけでなく、小規模な工事でも活躍できるような環境を整えたいです。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。



現場で綿密な打ち合わせ

●今回の準に当たり不安や課題はあったか？

高崎・渋川間のバイパスは朝方の交通量が多いため、安全確保には特に注意しています。また、治線にお住まいの方をはじめ、近隣住民の方への配慮も重要視しています。

●現場で心掛けていることは？

現場に携わるみんなが、一般土木工事技術者の試験勉強の時は夜間作業を任せることが一つの目標、目的に向かって進むことが重要で、チームワークが何より大切だと思っています。

●女性の監理員に対しての敬意と憧れは？

尊敬と憧れです。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。

●今後の夢はなんですか？

出産を経験し、自分のこれまでの働き方を見つめ直す機会がありました。女性がさまざまな活躍の場を広げていくことを期待しています。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。

●女性の活躍の場は？

大規模な工事だけでなく、小規模な工事でも活躍できるような環境を整えたいです。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。

●今後の夢はなんですか？

出産を経験し、自分のこれまでの働き方を見つめ直す機会がありました。女性がさまざまな活躍の場を広げていくことを期待しています。女性技術者が増えれば、現場での活躍の場も広がります。